

# 2023宮城県議選 立候補予定者 こども・子育て政策に関するアンケート

回答者名【**枡 和也**】 立候補予定選挙区【**柴田**】 所属政党【**立憲民主党**】

問1. 子どもをもう一人、と望む家庭でも経済的理由から二の足を踏む親御さんもいると聞きます。東京都の018サポートや、大阪府の子育て世帯向け食料支援など、経済支援を行っている都道府県もありますが、子どもを生み育てやすい県にするために、宮城県には何が必要と考えますか？

経済的支援は、学校給食費の完全無償化、給付型奨学金制度の拡充など、子育て支援事業として県内の自治体のファミリーサポートセンター等の充実

問2. 埼玉県議会で提出されていた虐待禁止条例の一部改正案については賛否両論の声があがっていました。宮城県においてもこのような法案が必要と考えますか？

必要とは思いますが、当事者や保護者の意見、専門家の意見を十分に聴き現状に合った条例にすべき。

問3. 子育て世帯の関心が高いいじめ問題ですが、宮城県としてどう対策していくべきと考えますか？

管理職教職員の意識改革というか風通しの良い教育委員会へ。心のケアハウス、フリースクールなどの充実。

問4. ひとり親家庭には、医療費のサポートがあるものの、一度立て替えた上で後日振り込まれる方法となっており、経済的に厳しいという声があります。これについてどうなっていくべきと考えますか？

仙台市はまだですが、県内の自治体は18歳までの医療費無料化それも所得制限なしで導入しているところが多いので無償化を広げること。

問5. 今年8月に発表された宮城県医療的ケア児等相談支援センター(愛称:ちるふぁ)の調査によると、医療的ケア児は県内に333人います。支援は進んでいますが、一方当事者からはまだ相談してもらい回しになるという現状は変わっていないという声もあります。医療的ケア児の相談体制としてはどうなっていくべきだと思いますか？

現在仙台市に一か所だが、ちるふぁを県内7圏域に設置し相談体制の充実を図るか、各町の相談体制の強化。

こども達のために、日本を変える

**Florence**